



豊橋市市民協働推進補助金 平成20年度事業報告資料



平成 21 年 6 月 14 日(日)

豊 橋 市



も く じ

つつじ補助金

発達障害者地域生活支援事業

発達障害者地域自立支援の会 グローアップ	1
----------------------	---

くすのき補助金

第4回防災フェア

特定非営利活動法人 東海リスクマネジメント研究会	2
--------------------------	---

大清水しょうぶの会

大清水しょうぶの会	3
-----------	---

市民福祉フォーラム in とよはし・3 「福祉」から「自立」へ

特定非営利活動法人 ふい～る工房	4
------------------	---

『TNR Trap(捕獲)→Neuter(不妊去勢手術)→Return(戻す) 運動』

公園に住む野良猫の繁殖防止 東三河動物福祉の会 ハーツ	5
-----------------------------	---

第3回市民朗読劇「われあかあかと生きたり 豊川海軍工廠編」

われあかあかと生きたり上演実行委員会	6
--------------------	---

話しタイ・わかりタイ・学び合いタイ～タイのおかしら増殖計画～

ボランティアグループ フロンティアとよはし	7
-----------------------	---

ふれあいの居場所づくり

特定非営利活動法人 手しごと屋豊橋	8
-------------------	---

渋茶倶楽部利用者会員との交流

渋茶倶楽部	9
-------	---

日本一のキャンドルナイト10484 2008

キャンドルナイト実行委員会	10
---------------	----

平成 20 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	発達障害者地域生活支援事業
団体名	発達障害者地域自立支援の会 グローアップ

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	・ 発達障害者が地域の中で自立して生活するためのスキルアップトレーニング講座の実施 ・ 発達障害を持つ子どもさんの親御さんなど関係者向けのピアカウンセリングの実施
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	不安やあせりなど精神的悩みを抱える子どもたちが専門家の指導を受けることで、気持ちのゆとり、安定を得ることができていると思われます。 親御さん向けのピアカウンセリング事業は、多くの方に参加いただくことができ、発達障害の啓発や理解につなげることができてきたように思われます。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	スキルアップトレーニングは一度二度の実施では身につかないので、今後も実施していきたい事業です。 ピアカウンセリング事業の需要は多く、大変好評をいただいております。また、再度のお申し込みも多く、リピーターの方に対するサポートも実施していき、開催の場所を変えたり、回数も多く実施していきたいと考えております。

平成 20 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	第 4 回防災フェア
団体名	特定非営利活動法人 東海リスクマネジメント研究会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	私達は「巨大地震・地球温暖化・新型インフルエンザ」等が引き起こす未知の不安や経済の低迷といった不況感の中で更なる「脅威」に怯えています。こう言った、企業や個人の安全を脅かすような「脅威」が実際に発生したとしたら私達はひとたまりもないでしょう。「脅威」に対して、いざ具体的な対策を取りくもうとして動き出してみても、何から手をつけたらよいか、何をどうしたらよいか、判断する情報すら無いと言うのが、実情ではないでしょうか。 今回の「第 4 回 防災フェア」では、こう言った「脅威」に対する情報提供はもちろんの事、「緊急時のシミュレーション訓練」等を通じて「実感・体験」が可能な内容を盛り込んで開催致しました。
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	今回、会場を変更しましたが、セミナーについてはアンケート結果等より非常に高い評価を頂きました。特に地震シミュレーション訓練は、参加型のセミナーであり、いざ、そのときになったら、なかなか思うようにできないことを体験いただけたと思います。 また、新型インフルエンザのセミナーは、タイムリーな講座であったため、防災フェア後に企業からのセミナー依頼もございました。 展示については、地震体験車（起震車、免震車）は、目標に近い体験をいただきましたが、防災関連品展示会場のご来場者数は、前回と比較して寂しかったように思われます。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	防災フェアは、引き続き開催して行きます。また、今後は出張セミナーの開催を試みようと考えています。多くの方にご来場いただくために会場、展示内容、セミナー内容等を再度検討して次回の企画を考えます。

平成 2 0 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	大清水しょうぶの会
団体名	大清水しょうぶの会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	歴史ある、自然に生えていた野花菖蒲を後世に残すために、下記の作業を年間通し実施した。 1 年 1 回 (6 月 度) の株分けと苗作り 2 年間 1 2 回程度の除草作業 3 年間 1 回 (6 月 度) の客土作業 4 年 4 回 (6 ・ 8 ・ 1 0 ・ 3 月 度) の肥料施用作業 5 年 2 回の薬剤散布作業
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	散水用の配管工事、客土入替え、それぞれ会員が持ち寄っていた道具の一括購入等、施設面で充実することができました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	1 今の「南稜地区市民館横」の位置ではわかりにくい。「しょうぶ祭り」期間中だけでもさらに大きな看板を設置し、P R に努めたい。(現在でも、タレ幕・のぼり旗を期間中装飾実施している。) 2 しょうぶ園の位置を変えるのも一案。 3 「しょうぶの会は楽しいサークルである」という言葉を合言葉に会員の増強を図りたい。 4 「しょうぶ祭り」期間を、花が美しく咲いている期間中は延長したい。

平成 20 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	市民福祉フォーラム in とよはし・3 「福祉」から「自立」へ
団体名	特定非営利活動法人 ふい～る工房

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	現状の障害福祉施策を、地域福祉に深い見識のある方をお招きし、基調講演を行い、広く一般市民の皆さんに理解していただきました。また、豊橋市を中心とした東三河地域での実践報告や現状を話し合うシンポジウム等を行い、それぞれ問題・課題を提起し、分科会で解決の方法について議論いたしました。 参加者 118名(2日間 延べ214名)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	今年度、「障害者自立支援法 3年目の見直し」が発表された直後の開催となったことから、障害のある方に関わる多くの方(行政、ご家族、事業者)に周知することができました。 また、教育委員会や機関からの参加も多数あったことにより、学齢期から「共生」への理解が進められるきっかけをつかむことができました。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	今回の企画タイトル通り、障害のある方の地域生活は、以前の「保護する」から「自立支援」へと比重が変わりました。この自立を成し得るためには、広く一般市民の皆さんのご理解がなければ達成することができません。今後も、このフォーラムをきっかけに多くの市民の皆さんが感じた障害のある方の「生きづらさ」を解決できる活動(フォーラム等)を実施していきます。

平成 20 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	『T N R Trap (捕獲) → Neuter (不妊去勢手術) → Return(戻す) 運動』公園に住む野良猫の繁殖防止
団体名	東三河動物福祉の会 ハーツ

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	・ 一般市民の通報により、現場にてリサーチ、市民と協力して「T N R」を行い、周辺住民の理解を得る。(随時) ・ みかわ市民生協汐田店にてバザー出店、ちらし配布。(6月22日) ・ 豊橋市動物愛護デーに参加。猫なんでも相談、パネル展示、NHK 地域猫番組の放映を行う。(9月15日) ・ サイエンスコアにおいて、「タラートチャオ」のバザー、募金活動。(10月26日)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	動物愛護精神の啓蒙・啓発、あるいは動物愛護法の遵守を広く市民に周知等実施して、市民の意識が高まるよう日々努力しているが、その結果はすぐに表れるものではない。2～3年後に成果として目に見えてくるものと認識している。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	「継続は力なり」のことば通り、また同じことを繰り返すのかと思われるかもしれないが、啓蒙・啓発の機会を様々な場所で展開していく。関係行政機関にも市民の意識が上がるよう、もっと協働してほしい。

平成20年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	第3回市民朗読劇「われあかあかと生きたり 豊川海軍工廠編」
団体名	われあかあかと生きたり上演実行委員会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	今回で3回目になるこの市民朗読劇は、「われあかあかと生きたり」という遺稿集の中から、毎年テーマを決め、何人かの手紙を市民の方々に朗読していただいて、上演しています。今年はこの地方において一瞬にして多くの犠牲者をだした豊川空襲をテーマに「豊川海軍工廠編」と題し、工廠でお亡くなりになられた、女子挺身隊、学徒、工員たちからの家族へ宛てた手紙を朗読しました。手紙は最年少で14才（今でいう中学二年生）の方でしたので、桜ヶ丘中学校・高校にご協力をお願いして朗読に参加していただきました。また、構成と演出は名古屋の南山国際高校の馬場豊先生にお願いしました。先生は名古屋で毎年「この子たちの夏」の朗読会の演出をされていることと、以前「豊川海軍工廠の記録」という本の編集の経験があり、知識が豊富でしたので、練習中に出演者に豊川海軍工廠についての学習会をしてくださり、大変よかったです。私たちは、この手紙を朗読することで、風化してしまう戦争の記憶を語り継ぐお手伝いをし、平和であることの尊さを皆さんに訴えていきたいと思っています。
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	◎入場者数 228 名+α（大人 215 名 高校生 13 名 小中学生 15 名ほど） 今回は豊川海軍工廠編ということで、出演者に学生さんの参加が多く、出演者の友人や家族の方々など、若い世代へのご案内ができてよかったです。また、初めてアンケートをとったところ、皆さんから市民朗読劇に対してご理解をいただいております、これからぜひ続けて欲しいというご意見が多く、3回とも見に来ていただいていたたり、実行委員会としてはとても励みになりました。今年も手紙を朗読させていただく方のご遺族のみなさんにご案内状を出したところ、当日妹さんがきてくださり、「まるで兄が手紙を読んでいるようで、嬉しかったです」とお礼の言葉をいただきました。そして朗読者の中には、お父さんの叔父さんの手紙を朗読するようになった方がいたり、いろいろな偶然の出来事がありました。また、出演者の家族の皆さんからも、良い経験をさせていただき、平和の尊さを再認識したというご意見もあり、何か少しお役に立てたような気がして嬉しく思いました。残念ながら、今年は会場の押さえができず、第4回朗読劇は来年度に予定をしておりますが、この豊川海軍工廠編の台本を1回だけの朗読劇で終わらせないで、豊橋・豊川の中・高校生などに朗読していただけたら、また朗読の輪が広がると考えております。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取り組みなど)	この市民朗読劇を教育委員会の協力を受け、恒例化できたら良いと思っています。そして小中高の生徒さんと一緒にご父兄の方々にも参加していただき、朗読会ができたらよいと思います。

平成 20 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	話しタイ・わかりタイ・学び合いタイ～タイのおかしら増殖計画～
団体名	ボランティアグループ フロンティアとよはし

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	豊橋市内の外国籍市民の在住割合の多い地域での親子日本語教室とポルトガル語教室を開催。 中野校区：親子日本語教室 毎週土曜日 午前 10 時から 12 時 中野校区市民館 多米校区：ポルトガル語教室 隔週土曜日 午後 1 時から 3 時 多米校区市民館
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	【親子日本語教室】 延べ 42 人の生徒が参加し、そのうちの半数以上が現在も日本語の学習を続けている。2009 年 7 月には 3 人の生徒が日本語能力検定を受験する予定。活動を継続し、密に連携する努力をした結果、周辺住民・学校などの理解も得ることができた。日本人の市民と外国籍市民の交流の場の提供と双方の橋渡し役ができたと考えている。 【ポルトガル語教室】 25 人の生徒が参加し、半年 1 クールを終了したのは 15 名。中には皆出席の方もあった。参加者の満足度は非常に高く、現在もステップアップした講座内容で継続中である。職場や自宅周辺などでブラジルの人に習ったポルトガル語を使って積極的に話しかけたところ、今までより距離が近くなったという方や、南米の文化芸術・歴史について学べたことで、相手に対する理解が深まったという方など、「自分サイズの国際交流」の形を見つけられた人が多かったのが印象的だった。 今回の試みはフロンティアとよはしとしては大きなチャレンジだったが、互いに相手の母語を学ぶ姿勢こそが外国籍市民との共生の一步であるということを確認できた。大きな収穫だったと思う。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	【課題】 1. 教室継続に必要な資金をどう安定的に確保するか。 2. ボランティアスタッフの数の確保 今後教室数を増加させる、あるいは既存の教室を継続させていくためにはこの課題を早急に解決しなければならないと考えている。 【今後の取り組み】 * 2009 年度は中野校区にポルトガル語教室を開催するということで、5 月 9 日からスタートし、現在 9 人の方が参加している。 * 秋にはバイリンガルの教室ボランティアスタッフの養成講座を開催する予定。今まで生徒として参加した外国籍市民が、自身の経験を活かし、教える側へとステップアップできるような内容での開催を目指す。市内の教室で、バイリンガルスタッフとして活躍できるようになることを目標とする。

平成20年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	ふれあいの居場所づくり
団体名	特定非営利活動法人 手しごと屋豊橋

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	第1回 ふれあいの居場所づくり～市政と行政のコラボ学習会～ テーマ：居場所づくり 平成20年7月12日(土) 10:30～ 大崎校区市民館 【講師】NPO法人地域福祉サポートちた代表 松下典子さん 豊橋市市民協働推進課 大林さん 第2回 もったいないをタンスから～布ぞうり作り～ 平成20年8月16日(土) 10:00～15:00 大崎校区市民館 【講師】小林さん、岡戸さん、市川さん 第3回 もったいないをタンスから～着物からのリフォーム ベスト作り～ 平成20年9月21日(日) 10:00～15:00 大崎寄りあい所 第4回 ふれあいの居場所づくり～市政と行政のコラボ学習会～ テーマ：老老介護 平成20年10月19日(日) 10:30～12:00 大崎校区市民館 【講師】緑川和子さん、キャラバンメイト 三田久子さん 第5回 ふれあいの居場所づくり～市政と行政のコラボ学習会～ テーマ：介護保険 平成20年11月16日(日) 10:30～12:00 大崎校区市民館 【講師】グループホームたけのこ事務局長 大屋さん 豊橋市介護医療課 杉浦さん 第6回 ふれあいの居場所づくり～手づくり作品展 日本の歳時記～ 平成20年12月21日(日) 11:00～ 大崎寄りあい所 つきたてお餅と味噌汁無料サービス、おかず販売、手づくり作品バザー 第7回 ふれあいの居場所づくり～市政と行政のコラボ学習会～ テーマ：高齢期をいかに生きるか 平成21年2月7日(土) 10:30～12:00 大崎校区市民館 【講師】さわやか福祉財団さわやかインストラクター 松下典子さん 豊橋市社会教育課 太田さん
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	地域での住民の交流会が実施できました。 会員増につながり、地域での居場所づくりにつながりました。 【参加者】 第1回 非会員7名、会員13名、食事スタッフ3名 第2回 講師3名、非会員16名、会員12名、平安寮4名 第3回 講師3名、参加者4名、見学者2名、会員7名、平安寮5名 第4回 講師2名、参加者9名、会員11名、食事スタッフ3名 第5回 講師2名、参加者7名、会員15名、平安寮5名、食事スタッフ3名 第6回 80名の参加 第7回 講師2名、参加者7名、会員15名、平安寮5名、食事スタッフ3名
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	高齢社会を地域で楽しく、生きがいをもって、ささえあって暮らしていける「仲間づくり」をめざします。合い言葉の「90才まで現役」をめざし、学習し、体験し、自立し、さまざまな仕掛けを提供していきます。

平成20年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	渋茶倶楽部利用者会員との交流
団体名	渋茶倶楽部

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの背景、目的、内容など)	車いすを利用し生活をしている肢体不自由者の方の外出支援を主に行っているボランティア団体です。体に障害があるとどうしても外出する事がためらわれがちになりますが、私達渋茶倶楽部は、このような人達をより多く「青空の下」に出られる様に外出支援を行っています。 会員は、平成20年度で会員36名、利用者会員61名です。主な事業内容は、①春の行楽、②花火見物、③秋の行楽、④お花見、⑤ミニ行楽、以上が補助金利用の行事です。その他として社会福祉協議会で行われる事業への参加、小、中学校で行われる福祉教室への講師派遣等有ります。
事業の成果等 (補助金はどう役立ったか、また事業を実施した結果、どう変わったかなど)	補助金を利用する事により各種行楽に対する障害者の方の負担を半減する事が出来、障害者の方のメリットは大きいと思います。その反面、この補助金の対象者が障害者の方のみ半額補助となっているため、私達渋茶倶楽部の会員は事業を行う程、負担が大きくなります。 車いす介助は、障害者の方と1対1で行うため、いつも2人で行動します。この事を理解していただき介助者も補助金を受けられる様にお願い致します。 《活動実績》 ①春の行楽（平成20年6月8日） 竹島水族館【参加人数：利用者14名 家族1名 会員18名】 ②花火見物（平成20年9月13日） 炎の祭典【参加人数：利用者14名 家族6名 会員12名】 ③秋の行楽（平成20年11月15日） 新幹線で名古屋へ【参加人数：利用者8名 会員11名】 ④お花見（平成21年3月28日） 岩田運動公園【参加人数：利用者10名 家族4名 会員14名 中学生6名】 ⑤ミニ行楽 平成20年11月24日 志多ら（太鼓）【利用者2名】 平成21年1月16日 甲斐バンド【利用者2名】 平成21年2月27日 映画鑑賞【利用者3名】
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	今後の日本は、より高齢化社会を迎えるため、車いすを利用し生活をする方が増える事と思います。その為、私達の活動を利用する方も多くなる事と思っています。それに対応出来る様に私達もレベルアップし、今後も活動をして行きたいと思っています。

平成 20 年度市民協働推進補助事業 事業報告会参考シート

事業名等	日本一のキャンドルナイト10484 2008
団体名	キャンドルナイト実行委員会

項 目	内 容
事業の概要 (取組みの内容)	開催日：2008 年 8 月 31 日(日) 18:00～21:00 (予定では 8/30 でしたが雨天順延になりました) 開催場所：こども未来館「ここにこ」、松葉公園 事業内容：会場内にペットボトルキャンドルを 10484 本並べ点灯 <u>ここにこ内</u> <u>キャンドルウェディング</u>(結婚式を芝生広場で行い感動を呼びました)、<u>アートキャンドル</u>(ハートの形に並べたり、ペットボトルに巻く紙を切り抜いたりしました)、<u>生演奏</u>(上里なほ子と仔羊弦楽団と愛知大学モダンジャズ研究会による演奏)、<u>願いを込めたペットボトルキャンドル</u>(来場者に願いやイラストを描いていただきその紙をペットボトルキャンドルに巻いて点灯しました)、<u>キャンドルカフェ</u>(光るコースターにドリンクをのせて販売) <u>松葉公園内</u> <u>園児のお絵描きペットボトルキャンドル</u>(幼稚園や保育園、デイサービスセンター、町内会の 41 団体が参加し嗜好を凝らしたペットボトルキャンドル約 3,500 本を点灯して頂きました)、<u>灯りの屋台</u>(ご家族で楽しめる食べ物やドリンクを販売)
事業の成果等 (事業を実施した結果、どう変わったかなど)	雨天により開催日が翌日にずれましたが大変多くの方が来場されました。(約 30,000 人来場)豊橋を盛り上げる一大イベントの一つではないかと感じてしまうくらいで、開催後に今度はいつ開催するか?と聞かれるほどでした。また新聞でも取り上げられたり、様々な方のブログなどにもキャンドルナイトが掲載されていました。 成果や変化については来場者の主観によるものですので、評価をしづらいですが、親しい方と来場された方は素敵な同じ空間、時間を共有することで会話が更に生まれより関係が深まり、来場者の明日への活力になったと思います。キャンドルナイトに行ったことがある人にどうだったか聞いてみてください。多くの方は「すごく綺麗で良かった」と言って頂けると思います。
今後の見通し (事業実施後の課題、今後の取組みなど)	開催日には豊橋青年会議所をはじめ多くの方にお手伝い頂き、無事行うことができましたが、開催までの準備はかなり人手不足で、幼稚園・保育園への参加依頼や紙の配布、協賛金集めなど一人の負担がかなり大きく毎年苦労していましたが、2008 年は補助金が頂けてその分協賛金を集める労力が減りましたので大変助かりました。また、鴨の水掻きのように、当日は大変綺麗な空間が広がっていますが、準備から設営、運営までがかなり大変なので一般参加のボランティアや実行委員会スタッフが毎年変わるのが現状で、今後は規模を縮小するなり他団体との共催なり、運営しやすい組織作りや事業内容を検討していかなければなりません。



豊橋市市民協働推進補助金とは...

NPO、ボランティア団体、自治会などが行う社会に役立つ活動を資金面から応援する補助金です。市民のみなさんからの寄附などからなるトヨッキー基金（市民協働推進補助金）を財源としています。

平成21年度～

市民活動スタート支援補助金 （つつじ補助金）	市民活動ネクスト支援補助金 （くすのき補助金）	市民活動施設整備事業支援補助金 （ハード補助金）
設立後2年未満の団体が行う事業を対象としています。ただし、ひとつの団体につき1回のみ補助を受けることができます。	設立後2年以上の団体が行う事業を対象としています。なお、同一事業につき3回まで応募できます。	設立後2年以上の団体が行うハード事業を対象としています。
【補助金額】 ＊事業費が5万円以下の場合 ...全額補助 ＊事業費が5万円を超える場合 ...5万円	【補助金額】 ＊事業費が60万円以下の場合 ...事業費の2分の1の金額 ＊事業費が60万円を超える場合 ...30万円	【補助金額】 ＊事業費が50万円以下の場合 ...事業費の10分の9の金額 ＊事業費が50万円を超える場合 ...以下の計算式のとおり $(\text{事業費} - 50 \text{ 万円}) \times 8/10 = A$ $A + 45 \text{ 万円} = \text{補助金額} (\quad)$ ただし、補助金額の <u>上限は 85 万円</u> です。



豊橋市 文化市民部 市民協働推進課

〒440 - 8501

豊橋市今橋町1番地(西館4階)

TEL : 0532 - 51 - 2482

FAX : 0532 - 56 - 5128

MAIL : shiminkyodo@city.toyohashi.lg.jp